

## ～福祉実践教室 特別号～

去る6月13日(水)5・6時間目を使って、福祉実践教室を実施しました。高齢者疑似体験と福祉レクリエーションの2講座を各クラスに分かれて行いました。事前学習として、総合の時間に、年を取ることで現れる体の変化や、お年寄りや障がい者とのかかわり方について学んできました。今回の実践を通して、新たな気づき生まれ、これらに対する考えが深まってくれることを期待しています。

### 高齢者疑似体験 編

実際に高齢者になったつもりで、階段を上り下りしたり、狭いところを歩いたり、調べただけではわからなかったことを体感することができました。生徒の表情を見ていると、新たな発見をしている様子が見えられました。



【さあみんなでお年寄りになろう】



【こんな見え方するの…】



【階段を下りるのは怖いなあ】



【優しい声かけが大切!!】



## 福祉レクリエーション 編

お年寄りを対象として、喜んでいただくことができるレクリエーションを紹介していただきました。単純な動きの中でも、頭を使ったゲームがあり、子どもたちも楽しむことができました。また、レクリエーションを楽しいものにするためには、紹介する人が楽しむことを学びました。



【桑原さん 上手だなあ】



【カラフルひらひらとんぼ】



【白がー列並んだ！！】  
生徒の感想

- ・ いつも当たり前にできていることが、おもりや膝当てや肘当てをつけたら、体が思うように動かず、とても大変だった。お年寄りには優しくしたい。【1組男】
- ・ 目が見えにくいため、動きにくく、ヘッドホンをするとう耳が聞こえにくくなるので、小さい声で相手の名前を読んでみたら返事が返ってこなかった。また、右だけ麻痺でも階段が登りにくかった。【1組女】
- ・ 腕がとて重かったり、聞こえにくくなったり、見えにくくなったりして大変だった。介助するときは少し先のこと大きな声でゆっくり言わないと伝わらないことが分かった。【2組女】
- ・ レクは物がなくてもいろいろ簡単に楽しくできるということがわかった。あと、ジャンケンにひと工夫するだけで頭も使うことが分かった。【1組女】
- ・ いろいろなものを使って、高齢者の方たちが楽しめるものを作っていてすごいなと思った。また、高齢者の中にはプライドをもった方もいるので、名前やニックネームで呼ぶとよいことも分かりました。【2組女】
- ・ 福祉レクをやってみて、どれも簡単にできて、誰でも楽しめそうだなと思った。工作もやって他の物も作ってみたいと思った。【2組男】